

特 殊 報

各関係機関の長 殿

福岡県病虫害防除所長

平成15年度病虫害発生予察特殊報第6号について

このことについて、以下のとおり送付します。

平成15年度病虫害発生予察特殊報第6号

- 1 対象作物 キュウリ
- 2 病虫害名 M Y S Vによるキュウリ黄化えそ病
- 3 発生地域 県南部
- 4 発生面積 10 a
- 5 特殊報の内容

(1) 発生経過

平成15年10月中旬に県南部の地域農業改良普及センターから、キュウリのウイルス検定依頼があった。当病虫害防除所においてE L I S Aで診断したがウイルス反応が得られなかったため、九州沖縄農業研究センター病害遺伝子制御研究室に検定を依頼した。その結果、Melon Yellow Spot Virusによるキュウリ黄化えそ病であることが判明した。本ウイルスによる病害の発生は本県では初めてである。

M Y S Vによる病害は、平成4年に静岡県のメロンで初発し、その後平成7年に高知県のキュウリで、平成12年に静岡県のキュウリ・愛媛県のキュウリ、平成14年に群馬県のキュウリ、平成15年に神奈川県のカブでそれぞれ確認されている。なお、外国での発生事例は知られていない。

(2) 主要な病徴

キュウリの葉では初め葉脈透過を生じ、後にモザイク、えそ斑点、葉脈えそ、葉の黄化など多様な症状を示す。これらは一見、マンガン欠乏症等に類似している。なお、果実には病徴が現れない。

(3) 発生生態

M Y S Vはミナミキイロアザミウマによって媒介される。他のアザミウマがどの程度媒介するかは不明である。

その他の害虫による媒介、土壌伝染、種子伝染はしない。汁液伝染もほとんどないので、管理作業による伝染の心配はないと思われる。

(4) 寄主植物

M Y S V の自然感染が確認されている植物

ウリ科：キュウリ・メロン

接種等により M Y S V の感染が確認されている植物

ウリ科：スイカ・シロウリ・トウガン・ヘチマ・ニガウリ・カボチャ

ナス科：ペチュニア

アカザ科：ハウレンソウ

ユウガオ科：ユウガオ

ツルナ科：ツルナ

ゴマ科：ゴマ

ゴマノハグサ科：キンギョソウ・トレニア

5 防除上注意すべき事項

- (1) 本病が疑われる株は、見つけ次第直ちに抜き取り、放置せずに処分する。
- (2) 雑草はアザミウマ類やウイルスの発生源となる可能性があるため、ほ場内や周辺の除草を徹底する。
- (3) 施設開口部に防虫ネットや寒冷紗等を張り、施設内へのアザミウマ類の侵入を防ぐ。
- (4) 本県での発生地域は限られているが、今後、拡大する可能性があり、各地域でも発生に注意する。



ほ場内 M Y S V 感染株



葉脈透過



葉脈透過



葉色の脱色



黄化えそ症状



末期症状



発生程度順にならべた葉での症状（右へいくほど重症）